

令和7年度卒業式式辞

六間川の桜の蕾も膨らみ始め、春の息吹が感じられる季節となりました。

この佳き日に、PTA会長の小澤好枝様を始め、御来賓の方々そして多数の保護者の皆様をお迎えして、第74回静岡県立藤枝西高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、教職員にとりまして大きな喜びであります。

ただ今、卒業証書を授与しました156名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとう。皆さんは、入学以来、たゆまぬ努力を積み重ね、本校所定の教育課程を修了し、めでたく今日の日を迎えました。保護者の皆様におかれましても、お子様の健やかな成長を願い、支えてこられ、立派に成長された姿に感慨も一入のことと存じます。

教職員一同、心よりお慶びを申し上げます。

私は3年前、藤枝西高校に着任したので、皆さんと共にこの3年間を過ごしてきました。朝早くから教室で勉強する姿、グラウンドやテニスコートで必死にボールを追う姿、暑い夏も寒い日も体育館や弓道場で技術を磨く姿、楽しげに演奏する姿、花へ水やりする姿、読書に没頭する姿、交通安全を啓発する姿、研修旅行で平和への思いを願う姿、一人一人の姿が脳裏によぎり、皆の成長がとても愛おしく感慨深いものがあります。

先日、入学直後に提出してくれた全員の決意文、青春への想いを改めて読み返してみました。そこには本校での学びに対する期待に溢れ、一人一人の思いが綴られていました。自らの決意に沿った3年間を過ごすことが出来たでしょうか。

皆さんは、勉強、部活動、生徒会活動など様々な体験をしながら、悩み、戸惑い、成長してきました。心の強さやしなやかさを育むには、得意でないことや時に多少、理不尽とも思えるような状況にも向きあい、乗り越える経験を積むことが重要で、逃げずにやり遂げたことが自信となり、その積み重ねが人を大きく成長させてくれます。

次のステージでも逆境に遭遇した際は、苦しい時こそ成長のチャンスと前向きに捉え、知恵を絞り、本校で培ったレジリエンスを更に高めてください。

さて本日の卒業に際し、二つお話をします。

まずは、私が日頃より大切にしている言葉の一つを送ります。

『一隅を照らす』という言葉です。一隅とは一つの隅と書き、片隅のことです。

自分の与えられた役割に対しコツコツと丁寧に取り組み、全力を尽くすこと、これによりあなたの持ち場は少しずつ光が灯ります。各々が持ち場での役割に対して誠意を持って取り組んでいれば、結果として全体が明るく照らされていくことに繋がります。

これから大学や専門学校などで新たな学びを経験し、そして社会に出ていくまでには、自分の思い通り、順風の日ばかりではなく、困難に遭遇する時もあるでしょう。そうしたときは、真面目に根気強く向き合う粘り強さで、自らの置かれた境遇を変えてください。

真剣で誠実な姿勢は共感を呼び、誰かが自然と支えてくれることもあります。

真摯に取り組む姿勢は、知らず知らず他人にも影響を与えています。

私は皆さんと同じ頃、陸上競技に打ち込んでいました。高校卒業後、大学で思うような結果が出ず、正面から向き合うことを避け、逃げていた時期がありました。そんな時、一

緒に活動していた友人からものすごい剣幕でしっかりしろ、と叱られました。最初、私は何故、彼がそんなに苛立っているか理解できなかつたのですが、志を共にしていた仲間にとって、私の中途半端な生活態度やふるまいは裏切り行為そのものだったのです。やる気のない自分の姿を見るに堪えられなかつたのでしょう。私自身、自分は自分という独りよがりな考えが、相手の気持ちを想像する余裕をなくしていました。人は一人で頑張っているようでも人に支えられており、人にも影響を与えていたのです。今では叱ってくれた友人に感謝していますし、そういう友と出会えたことを誇りに思います。思うようにいかない時こそ、仲間やあなたを支えてくれている大切な人の思いを忘れないでください。

そして皆さん一人一人が持ち味に磨きをかけ、次のステップとなるそれぞれの場所で輝き続ける努力をして、一隅を照らす存在となってください。

二つ目です。「想像力に磨きをかけてほしい」ということです。

昨今は社会全体で効率化に拍車がかかり、無駄を省いて行動することを善とする傾向が強くなります。例えば生成AIやチャットGPTは、専門的な思考過程を模倣する出力を瞬時に提示するため、誰もが思考すら外部に委ねることができる歴史的な転換点に立っているといえます。

結論を容易に得ることが習慣化すると考える力を鍛える場を放棄することにもなり、短絡的な思考や未熟な判断を生み出すことにすら気付かなくなるのではないかと私は大変危惧しています。本質的な考えや真実を見極める力は苦勞してこそ養われ、獲得できるものです。非効率と思っても自ら意識的に立ち止まり、安易な手段に流されず、回り道をしてたくさん悩んでください。戸惑った経験や恥ずかしい経験が、無意識のうちに、あなたの考えの幅を広く、太く、強くします。失敗が次に生きるのは失敗をしないように注意を払うからです。世の中の情勢に高くアンテナを張り、素直な目で判断しながら、想像力に磨きをかけ、自らが主体になってください。

いつの時代も未来の予測は難しいですが、世界は今、混迷、混沌としており激動の時代に突入しています。それぞれの国に大義名分があり、お互いに譲らない、譲れないという状況は、現在の日本と隣国の間でも様々な問題に発展しています。

国と国だけでなく人と人でも同じです。相手の立場にたつて物事を考えて発した言葉ですら、思いもよらないことになってしまうこともあります。そんな時は本校校訓である他者を敬う敬愛の精神や、美点凝視の考えを思い出してください。余裕のない今の時代こそ、他者を敬う『敬愛』の精神は一層大切になるでしょう。人は誰でも失敗をしますので、これからも温かい心、思いやりの心を持ち、寛容な精神で周りの人に接してください。

共感できる優しさを備えることで、あなたの人生はより豊かなものになります。

結びにあたり、卒業生の皆さん、あらためまして御卒業おめでとうございます。

私たち教職員は、異なる路を歩む皆さんが、心身ともに健康で、前向きにチャレンジする姿勢を、いつまでも、そして、どこにいても、ずっと応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。

今日まで本校にお寄せいただきました御支援、御協力に深く感謝を申し上げます。

卒業生 156 人全ての皆さんの前途に、幸多からんことを祈念いたしまして式辞といたします。